



2019年8月7日

各 位

上 場 会 社 名 ヤマハモーターロボティクス  
 ホールディングス株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 石岡 修  
 (コード番号 6274 東証第一部)  
 問合せ先責任者 取締役 森 琢也  
 (電話番号 03-5937-6404)

## 2019年12月期通期連結業績予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年12月期通期の業績予想について、下記の通り公表します。

記

2019年12月期通期 連結業績予想数値 (2019年4月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期 純利益	1株当たり 当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	—	—	—	—	—
今 回 修 正 予 想 (B)	13,300	△4,090	△4,060	△4,890	△133.92
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前年通期実績	—	—	—	—	—

(注) 2019年12月期は決算期の変更により、2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間となります。このため、前期通期実績は記載していません。

### 業績予想の理由

半導体製造装置および電子部品実装装置の新規投資に対する慎重姿勢はしばらく継続するものの、次世代通信規格(5G)等による需要拡大により、徐々に回復に向かうものと想定しています。

当社は、2019年8月7日付「中期経営計画策定に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、ヤマハ発動機株式会社およびアピックヤマダ株式会社と三社間の事業統合をおこなったこと並びに決算期を変更したことを踏まえ、新たに業績予想を公表いたします。

新たな経営体制のもと、開発・生産・販売などあらゆる分野での改革を進め、全社で迅速にシナジー効果を追求し、黒字化を実現するとともに、財務力の回復と稼ぐ力の強化に注力し、日本発の強みを活かす「トータルソリューションプロバイダー」を目指します。

為替の想定換算レートは、105円/米ドルです。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上